



©T.Tairadate

岡本 陸 / Riku Okamoto (指揮)

2025年、第4回ドラティ国際指揮者コンクールにて、最高位(1位なし2位)を受賞し、国際的な注目を集める。

1998年生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。11歳よりスーパーキッズ・オーケストラに入団し、以来佐渡裕氏の薫陶を受ける。洛星高等学校を経て、東京音楽大学音楽学部作曲指揮専攻(指揮)に特別特待奨学生として入学。同大学卒業後は渡欧し、ウィーン、ヘルシンキにて研鑽を積む。指揮を広く上淳一、田代俊文、増井信貴、三原明人、米津俊広の各氏に師事。2022年、第4回ブカレスト国際指揮者コンクールにて優勝。これまでに、ハンガリー・ブダペスト響、イル・ド・フランス国立管、ブカレスト響、プロイエシュティ・フィル、ケチュケメート響、Siamo Orkest、ヴァーサ市響、都響、東響、新日本フィル、山響、群響、OEK、静響、中部フィル、日本センチュリー響、神戸室内管、岡山フィルなどを指揮し、今後も全国各地のオーケストラと共演予定。

現在は、フィンランド・ヘルシンキを拠点に、ヨルマ・パヌラ氏の下で研鑽を積んでいる。



中島 結里愛 / Yulia Nakashima (ピアノ)

2009年岡山県津山市出身。幼少期よりピアノに親しみ、9歳からくらしき作陽大学モスクワ音楽院特別演奏コース ジュニアカレッジに在籍。ドミトリー・リュトコフ氏を始め、モスクワ音楽院教授の指導を受ける。

第21回大阪国際音楽コンクール リサイタルコース最高位を10歳で、第25回ショパン国際ピアノコンクール in Asia プロフェッショナル部門銀賞、及び第14回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan 特別コース特級部門金賞・グランプリ・杉谷昭子賞を14歳で、史上最年少受賞。褒章としてスイスでリサイタル、イタリアでオーケストラと共演。同年、第25回岡山芸術文化賞準グランプリ受賞。

2025年ショパン国際ピアノコンクール 本大会に史上最年少で出場。これまでにワルシャワ国立交響管弦楽団、大和田祝祭管弦楽団(指揮:米田寛士氏)と共演。大阪・関西万博ポーランドパピリオン、迎賓館赤坂離宮を始め各地でソロ・リサイタルに出演。

公益財団法人ロームミュージックファンデーション2026年度奨学生。現在、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校2年に在学中。



©井上写真事務所 井上高和

京都市交響楽団 / City of Kyoto Symphony Orchestra (管弦楽)

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つ。身近な存在として、市民に愛され誇りとされる「文化芸術都市・京都の象徴となる」オーケストラを目指し、京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、ロームシアター京都でのオペラやコンサートのほか、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人々への楽器講習会等、多彩な活動を行っている。2023年、沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。研ぎ澄まされた感性と卓越した推進力で京響に新しい風を吹き込んでいる。2024年、伝統と革新を融合した演奏スタイルを追求するヤン・ヴィレム・デ・フリーントを首席客演指揮者に迎え、一層のレパートリーの拡充と演奏の充実を図っている。2026年は創立70周年を迎え、「世界に向けて最高の音楽を発信し続ける」オーケストラとしてさらなる発展を目指す。